

がん登録の役割

当院は、1975年から地域がん登録に参加し、2012年より院内がん登録を開始しました。国立がん研究センターの研修を修了した診療情報管理士が、電子カルテの情報をもとに、正確かつ適切に登録を行い、さらに、院内がん登録実務者の上位資格である「中級」を取得した担当者が業務を担うことで、精度と信頼性を確保しています。

がん登録は、がん診療の実態把握や治療の質を向上に不可欠です。収集したデータは、法令および個人情報保護方針に則り、厳正に管理され、より良い医療の提供へと活用されています。また、診療データの収集・分析を通じて、がん診療の質を高めるとともに、大阪府や国のがん対策に寄与し、未来の医療を支える役割を果たしています。

院内がん登録の実績

当院は、大阪府がん診療拠点病院として、幅広い病期（ステージ）の患者さんの診療を行っています。以下の表は、当院で診療を受けたがん患者さんの登録件数です。5大がん（胃・大腸・肝・肺・乳）に加え、食道がんや泌尿器系のがん診療にも力を入れ、専門的かつ高度な治療を提供しています。

年	総登録数	胃	大腸	肝臓	肺	乳房	食道	前立腺	膀胱	腎尿路
2021	753	78	178	29	75	89	26	67	52	29
2022	884	132	242	41	81	76	34	68	50	29
2023	931	135	256	22	95	77	28	95	47	20

最も多いがんは大腸がんで、次いで胃がん、肺がんの順です。患者さん一人ひとりに寄り添いながら、病態に応じた手術・抗がん剤治療・緩和ケアを提供しています。

専門医による診療の質向上

当院には、5大がんを含む各領域の専門医が在籍し、専門性を生かした診療を行っています。ロボット支援手術を導入し、患者さんの負担を軽減しながら、より精密な治療を実現しています。食道外科・泌尿器科・女性外科専門外来では、高度な技術を駆使し、低侵襲で質の高い医療を提供しています。特に、女性外科専門外来は全国でも希少な診療体制を整え、女性スタッフのみで患者さんに寄り添いながら治療を行っています。



食道外科
竹村雅至医師



泌尿器科
竹垣嘉訓医師



女性外科専門外来
瀧井麻美子医師

院内・地域医療の連携

院内の診療科が緊密に連携し、患者さんに適切な医療を提供しています。地域の医療機関とも連携を強化し、患者さんが安心して診療を受けられる体制を整えています。診療情報を丁寧に記録し、治療の向上と予防策の充実に努めることで、未来の医療の発展に貢献します。

がん登録を支える診療情報管理士

診療情報管理士は、患者さんの診療記録を適切に管理し、医療の安全と質の向上に貢献する専門職です。電子カルテを活用し、診療情報を整理・分析することで、精度の高い医療の提供を支えています。また、院内がん登録の情報管理を通じて、がん診療の質を高め、医療を支え、未来へつなぐ情報の架け橋となっています。

「確かな情報が、患者さんの未来をひろく。」 その想いを胸に、日々業務に取り組んでいます。

